

令和7年度 第3回刈谷市子ども・若者支援地域協議会議事録

日時	令和8年1月29日(水) 10時～11時30分
場所	刈谷市社会教育センター301研修室
出席者	委員 13名(欠席4名、代理出席1名) 事務局 4名

1 議題

(1) 子ども・若者支援状況報告について

子ども・若者総合相談窓口、子ども・若者の居場所の状況について、事務局、木下委員及び高須副会長より説明。

【主な意見・質問等】

・利用者が自宅で薬の過剰摂取によってパニックを起こし、相談窓口連絡をしてきたケースもあったそうだが、その際の対応や共有についてお聞きしたい。
→今回は緊急だったため、まずは病院への搬送を優先した。その後、子ども・若者総合相談窓口の他の相談員や、関係機関の担当に確認を取り対応した。

(2) 刈谷市における不登校の状況と取組について

学校教育課の岡部委員より説明。

【主な意見・質問等】

・切れ目のない支援のため、学校での支援を把握することは重要である。
・市が行っている不登校への取組にも行けない子どもの行先が知りたい。
・他市での不登校から卒業をした生徒の、その後の進路について工夫している取組をお聞きしたい。
→鈴木委員から蒲郡市の取組について説明。不登校の生徒に対し、中学校の頃から関わりを持つ取組がある。

(3) 情報交換

事務局から、刈谷市の居場所の取組について説明。その後、各委員からそれぞれの取組について詳細を説明。

【主な情報共有・意見等】

・中学時代に不登校で、卒業後に就職をする子もいる。一見、就職は困難そうに思えるが、自分のことをしっかりと話せる子であれば、企業側も採用を前向きに考えてくれる。
・幼少期からの支援が重要である。
・坂口委員から、コミュニケーションワークショップ等のイベントの説明。
・川北会長から、ひきこもり支援についてのトークイベントの説明。

2 その他

事務局より、3月に卒業を迎える市内中学校卒業生に対して、相談機関や相談場所を掲載したチラシを各中学校を通じて配布することを説明。